

## 成果検証報告書

## 【成果指標の達成状況】

成果検証実施年度

28 年度

市町村名	幸手市					
提案事業名	日光街道幸手宿まちなか回遊観光推進事業					
事業期間	平成26年8月 ～ 平成27年3月					
成果指標	(成果を検証する指標) 市への入込観光客数					
	(成果検証の具体的な方法) 市への入込観光客数の事業実施前と事業実施後の数値を比較し、増減数及び原因を分析する。					
	(成果の目標値に対する実績)				達成度	A B C
	従前値 (25年3月時点)	1,625,420人	目標値 (28年3月時点)	1,670,000人	実績値 (28年3月時点)	2,177,500人
	(施設建設等の場合の実績)					
	年間利用者数 (人)	(目標) (実績)		稼働率 (%)	(目標) (実績)	
住民への公表状況 及び特記事項		市ホームページにおいて公表する。				

## 【事業効果の整理・原因分析】

平成26年度 構成事業

構成事業名	事業効果	事業効果の概要及び原因分析
① 幸手宿まちなか観光支援事業	○	作成にあたりワークショップを開催したことで、市民による新たな切り口からまちあるきルートの設定や絵馬・幸手一色氏関連の寺社が多く存在することなどが確認でき、マップに掲載することが出来た。また、新聞等で取り上げられたことや権現堂の観光客にマップを配布したことにより、権現堂からまちなかにかけてマップを持った観光客の姿が目立つようになった。
②	○ △ ×	
③	○ △ ×	
④	○ △ ×	
⑤	○ △ ×	
⑥	○ △ ×	

## 【成果検証の総括・改善策の検討】

実施事業について 十分に成果が認められた点	市の定例記者発表及び埼玉県内の都内記者連絡会で記者発表を行い新聞等で取り上げられ、県外の方からも問い合わせがあり、多くの観光マップを郵送した。また、権現堂でマップを配布したことにより、特に各まつり期間中には、権現堂からまちなかにかけてマップを持った多くの観光客が見受けられ、賑わいを創ることが出来た。
実施事業について 成果が不十分である点	作成した部数が少なかったため、十分な配布ができない状況があった。また、まちあるきコースの案内看板や史跡等の説明看板も無い場所もあるため、まちあるきの方への案内が足りない部分があった。
成果検証を踏まえた 今後の改善策	まちあるきコースの案内看板や観光スポット・史跡などの案内説明看板の充実が必要である。